

授業科目名： スポーツ経営管理論	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 川邊 保孝 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目(中学校及び高等学校 保健体育)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
<p>(1) スポーツや体育、経営やマネジメントの定義を述べるができる。</p> <p>(2) スポーツや体育における具体的なマネジメント課題を提示できる。</p> <p>(3) 体育・スポーツ経営の概念の説明と構造を図示することができる。</p> <p>(4) 運動者行動や運動生活について説明できる。</p> <p>(5) スポーツ事業に必要な経営資源を理解し、各種事業の特性を説明することができる。</p> <p>(6) 学校運動部活動改革と総合型地域スポーツクラブとの関係について説明できる。</p> <p>(7) スポーツ事業を進めていく上で必要となるマーケティングの志向について説明できる。</p> <p>(8) スポーツ経営過程について説明することができる。</p> <p>(9) NPO法人格や指定管理者制度について説明できる。</p>			
授業の概要			
<p>本授業では、体育・スポーツ経営学の学問領域における知を基軸とし、学校体育をはじめとしたスポーツに関する組織や制度(仕組み)を理解することで、各種スポーツ組織の力を高め体育・スポーツの環境整備に必要な対策を創造できる能力を養うことを目的としている。</p> <p>授業の展開としてはテキストに基づいて学修してもらう。さらに、学修の状況に応じてテキスト以外の教材を活用していく。</p>			
授業計画			
<p>第1回:オリエンテーション スポーツ経営学概論</p> <p>第2回:我が国のスポーツを取り巻く現状と課題</p> <p>第3回:スポーツ経営の概念と構造</p> <p>第4回:運動者行動と運動生活の捉え方</p> <p>第5回:スポーツ事業と経営資源</p> <p>第6回:スポーツ事業論(1)エリア・サービスの捉え方とスポーツ施設の性格論</p> <p>第7回:スポーツ事業論(2)プログラム・サービスの捉え方とスポーツサービスのタイプや形態論</p> <p>第8回:スポーツ事業論(3)クラブ・サービスの捉え方と部活動や地域スポーツクラブの組織論</p> <p>第9回:スポーツマネジメントのトピック(1)部活動改革と総合型地域スポーツクラブ</p> <p>第10回:スポーツ事業論(4)スポーツマーケティングの基本</p> <p>第11回:スポーツ経営過程論(1)計画化:経営計画の種類と立案プロセス</p> <p>第12回:スポーツ経営過程論(2)組織化:組織の構造と特性</p> <p>第13回:スポーツ経営過程論(3)統制化:経営評価の視点とコントロール</p> <p>第14回:スポーツマネジメントのトピック(2) NPO法人格と指定管理者制度</p> <p>第15回:総括</p> <p>科目修得試験</p>			
スクーリングでの学修			
テキスト			
柳沢和雄・木村和彦・清水紀宏(編)(2017)「テキスト体育・スポーツ経営学」(大修館書店)、978-4469268317			
参考書・参考資料等			
<p>柳沢和雄・清水紀宏・中西純司(編)(2017)「よくわかるスポーツマネジメント」(ミネルヴァ書房)、978-4623080144</p> <p>山下秋二・中西純司・松岡宏隆(編)(2016)「図とイラストで学ぶ 新しいスポーツマネジメント」(大修館書店)、978-4469268041</p>			
学生に対する評価			
レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)			